街はみんなのキャンパスだ!!

OSAKA福祉オープンキャンパス FORUM 2018

講演資料集

障がい者福祉の現場はすべて
新たな一歩がはじまる学びのキャンパスだ!

第1部	10:30〜12:00 (10:00開場)	「はたらく」福祉のかたち 1 地域企画…地域課題に必要な連携の力について 2 報告会…ハローワークでの作業体験会活動報告 3 企業現場…企業の立場から障がい者雇用について
第2部	13:00〜14:30	「はたらく」福祉のこれから 〜障がい福祉に興味のある学生も新人職員も必見!〜 1 学生向け体感ツアー…1年の活動報告 2 地域コミュニティ…これからの人材育成について 3 地域企画広報実践…SNSやHPなどの活用した発信について
第3部	15:00〜16:30	「話してみよう!今、何が必要か?」 〜みんなでディスカッションしませんか?〜 ○地域課題に必要な連携の力について ○1年の活動報告 ○これからの人材育成について ○SNSやHPなどの活用した発信について

登壇講師一覧

ご芳名（敬称略）	ご所属
安里　光雄	ハローワーク梅田専２　統括
箱田　成司	ワークセンター　JIN
大東　直生	ザ・ホープフル　ぱれっと
大北　一恵	リトハウス長堀橋
伊藤　健司	にこにこワークス
清水　弘和	リタリコ相談支援センター大阪なんば
高砂　昇司	株式会社　クボタスタッフ
前野　哲哉	大阪市障がい者就業・生活支援C
松林　利典	堺市障害者就業・生活支援C
上原　陽平	大阪医療技術学園専門学校
川崎　敏行	ネクストステージエイブル
新　麻希	コスモスケアサービス
糸岡　昌彦	シゴトライ・リンクビー大阪
今井　幸世	ソーシャルプランニング流

＜第1部＞

①　地域企画とは何か

◎　地域企画とは何か

地域における特有の課題に対し、地域の支援機関・者が連携協力し、発展的・継続的に解決を目指すために創出した企画。いわゆる地域福祉企画のことを指す。

○成立に必要な要素としては以下の通り

① 事業所単独ではなく、課題の特性や解決方向に興味や実際の力量を持つ地域事業所群（コミュニティー）による企画であること

② 各事業所の利益や実務上の課題より、地域全体での課題解決を目指すための企画であること

③ 地域ネットワークによる最大限の効果を、各事業所が享受でき、かつ本来の各事業所が持つ支援能力などを、他事業所においても活用可能な「土壌づくり」を目指すための企画であること。

④ 上記をコミュニティー創出の足掛かりとして認識でき、これらすべてを就業を目指す当事者へフィードバックしていく強い意識を伴った企画であること。

＜第1部＞

② ハローワークでの作業体験会活動の報告

・ハローワーク大阪東
・ハローワーク梅田
・ハローワーク大阪西
・ハローワーク阿倍野

H30 年度　就労系福祉サービス等実演体験会

※注　下記内容は、現時点での仮決定内容です。

[HW 梅田]

会場：ハローワーク梅田セミナールーム

時間：13:30～15:30 まで　（前後、時間がある方は会場セッティングをお願い致します）

日程：↓基本的に第 3 金曜日に開催予定。

4 月 13 日（金）	5 月 25 日（金）	6 月 15 日（金）	7 月 27 日（金）	8 月 17 日（金）	9 月 14 日（金）
10 月 19 日（金）	11 月 16 日（金）	12 月 14 日（金）	1 月 25 日（金）	2 月 15 日（金）	3 月 22（金）

※実行委員会の日程：5 月 11 日、9 月 7 日、2 月 8 日に開催いたします。

主催：ハローワーク梅田

共催：ハローワーク梅田就労系福祉サービス体験説明会実行委員会

協力：東部地域障がい者就業・生活支援センター / 東部就労移行支援事業所連絡会（E-Cheers）
北区障がい者相談支援センターIKUTAS / 北区障がい者相談支援事業所生活・就労支援部会

問い合わせ

社会福祉法人北区さつき会
北区障がい者相談支援センターIKUTAS
担当：川西　利典　様　（06-6374-7888）

[HW 大阪西]

会場：ハローワーク大阪西 3 階会場

時間：15:00～17:00 まで　（前後、時間がある方は会場セッティングをお願い致します）

日程：↓基本的に第 4 金曜日に開催予定。

4 月 27 日（金）	5 月 25 日（金）	6 月 22 日（金）	7 月 27 日（金）	8 月 24 日（金）	9 月 28 日（金）
来年度も基本的には第 4 金曜日に開催する予定ですが、まだ確定していません。					

主催：ハローワーク大阪西

共催：チーム・ウエスト

協力：西部地域障がい者就業・生活支援センター / ワナビ実行委員会
港区障がい者相談支援センター / 大正区障がい者相談支援センター

問い合わせ

株式会社ほていや
就労移行支援事業所 にこにこワークス
担当：伊藤　健司様　（06-6543-5577）

[HW 阿倍野]

会場：ハローワーク阿倍野 3 階会場

時間：15:00～17:00 まで　（前後、時間がある方は会場セッティングをお願い致します）

日程：↓基本的に第 2 金曜日に開催予定。

4 月 6 日（金）	5 月 11 日（金）	6 月 8 日（金）	7 月 13 日（金）	8 月 10 日（金）	9 月 14 日（金）
10 月 12 日（金）	11 月 9 日（金）	12 月 7 日（金）	1 月 11 日（金）	2 月 8 日（金）	3 月 8（金）

主催：ハローワーク阿倍野

協力：中部・南西部地域ネットワーク（いいくる）

中部／南西部地域障がい者就業・生活支援センター

阿倍野区地域自立支援協議会／平野区地域自立支援協議会

問い合わせ

株式会社 LITALICO

LITALICO 相談支援センター大阪なんば

担当：清水　弘和　様　（06-6633-6226）

[HW 大阪東]

会場：ハローワーク大阪東 3 階会場

時間：15:00～17:00 まで　（前後、時間がある方は会場セッティングをお願い致します）

※開催時間ですが、もしかすると変更するかもしれません。只今、検討中です

日程：↓基本的に第 1 金曜日に開催予定。

4 月 6 日（金）	5 月 11 日（金）	6 月 1 日（金）	7 月 6 日（金）	8 月 3 日（金）	9 月 7 日（金）
10 月 5 日（金）	11 月 2 日（金）	12 月 7 日（金）	1 月 11 日（金）	2 月 1 日（金）	3 月 1（金）

主催：ハローワーク大阪東

協力：大阪市北部地域就労支援事業連絡会（MAJT）

北部地域障がい者就業・生活支援センター / 鶴見区障がい者相談支援センター

問い合わせ

大阪市障がい者就業・生活支援センター

北部地域センター

担当：美濃部絵莉子　様　（06-6955-9921）

※上記の内容は、各担当者へ事前にお問い合わせをしていただきますよう、お願い致します。

ハローワーク大阪東における実演体験会の取り組みについて

登壇者
NPO法人真成会
ワークセンターJIN

箱田　成司

年間の活動

- 平成29年4月～3月　第一金曜日に開催
- 時間　15時～17時
- 最寄駅　谷町4丁目　8番出口（徒歩3分）
- 2月2日に報告会と次年度に向けての検討会を行う。
  （13時30分～14時30分）
- 事業所間の懇親会（毎回）

参加事業所

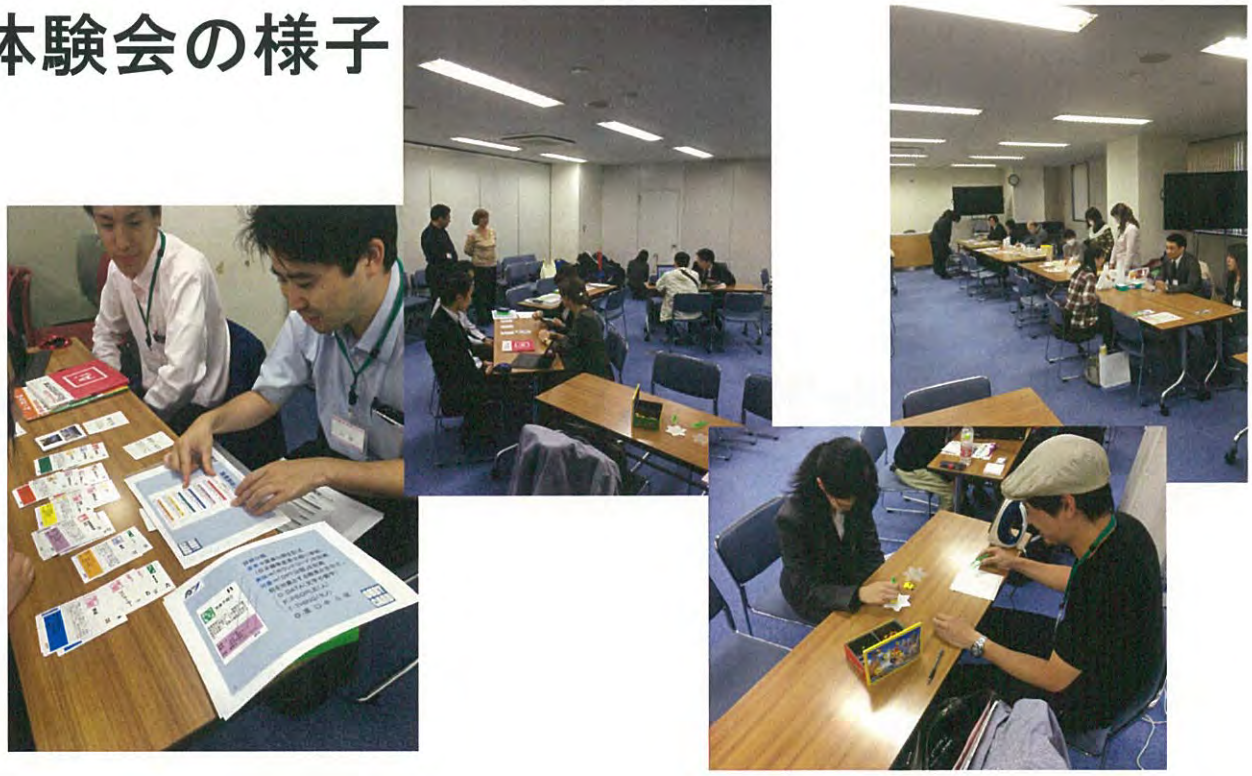
- 22事業所数が参加（中央5・生野2・東成3・　城東5・鶴見3・都島2・淀川1・東淀川1）
- 就労移行8・A型5・B型5・自律訓練1・多機能3
- 内容：軽作業（箱折り、商品の梱包、アクセサリー作りなど）職業適性検査、パソコンタイピング
- 懇親会（17時～21時）4人～12人
- ***オープンな体験会が特徴的！***

報告会と懇親会の様子

参加者（アンケート集計（4月～12月）

・参加者25名（本人21名、家族4名）
・周知について
（チラシ4名、ハローワーク15名、その他）
・手帳（身体　2、療育　9、精神　10）
・感想
わかりやすくて、楽しく参加できました。（多数）
体験ができて、イメージができた。
→実際に体験会を通して見学や利用につながった事例がある。

体験会の様子



来年に向けて

・時間：13時～17時（2部制の導入）
前半　セミナー系　後半　体験会系
・広報
チラシ媒体の周知（年間スケジュールの明記
そのチラシを通して、各事業所が各地域の区役所、
クリニックに持っていく。
大きなポスターをハローワーク、支援学校に年間通して
掲示する。
東で参加してみたい事業所は遠慮なく参加して下さい。

ご静聴ありがとうございましたm(_ _)m

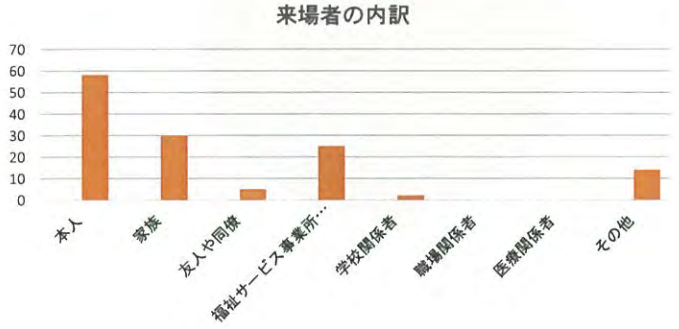
ハローワーク梅田

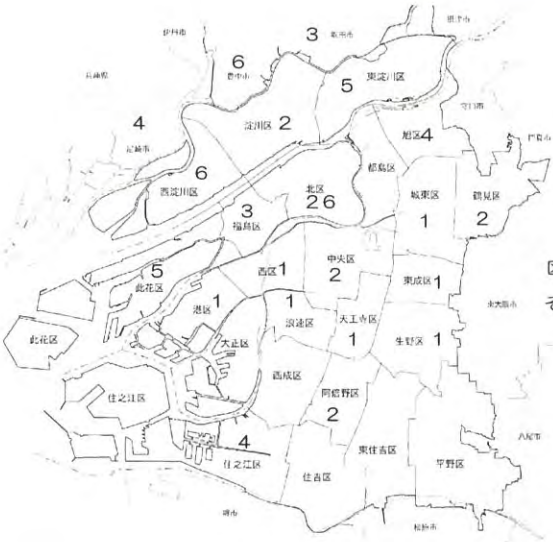
就労系福祉サービス体験説明会

平成２９年度報告

［来場者参加状況］

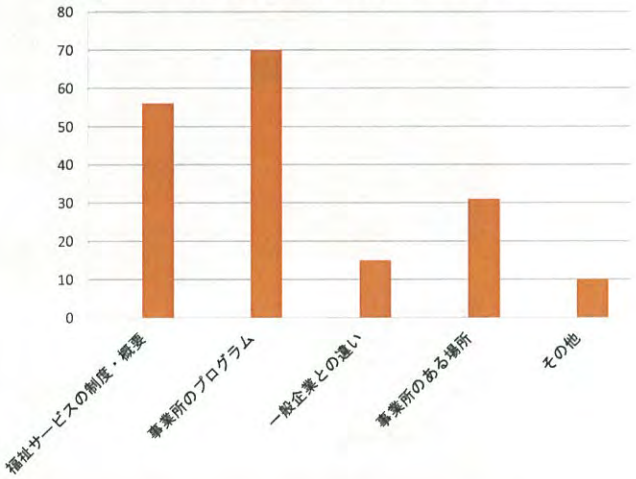
実施日	来場者（アンケート回収分）		前年同月	
	全体	うち、求職障がい者	全体	うち、求職障がい者
平成29年4月21日	７名	４名	３名	２名
平成29年5月12日	７名	４名	６名	４名
平成29年6月16日	１６名	３名	５名	５名
平成29年7月27日	２２名	７名	９名	４名
平成29年8月18日	２２名	９名	２５名	１６名
平成29年9月15日	１０名	６名	１名	１名
平成29年10月13日	１０名	９名	１１名	８名
平成29年11月17日	１５名	４名	３名	０名
平成29年12月22日	１４名	８名	７名	５名
平成30年1月19日	１１名	４名	５名	５名
平成30年2月23日			1名	１名
平成30年3月16日			7名	５名
計	１３４名	５８名	８３名	５６名



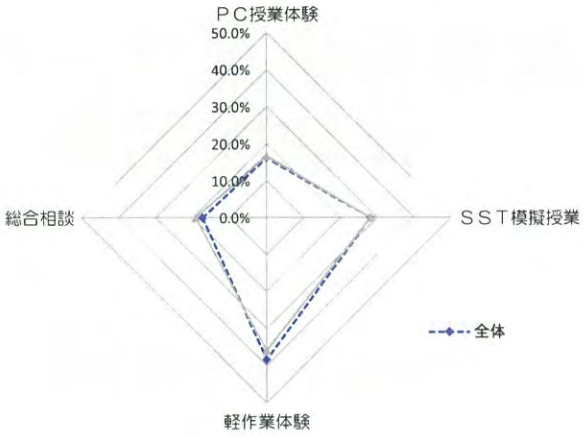


参加者の期待・体験

ＨＷ体験説明会に期待する内容

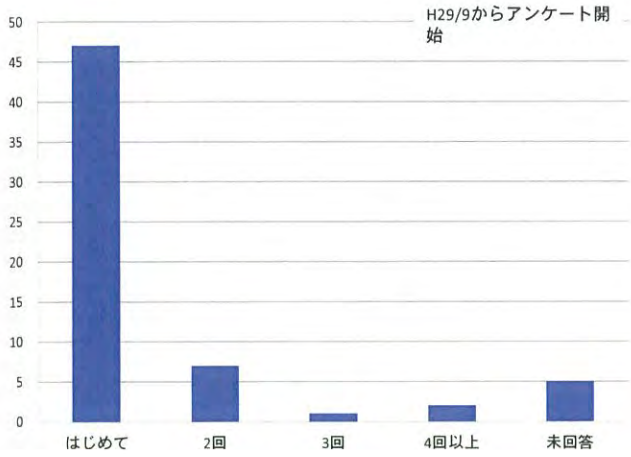


Ｑ：良かったコーナーはどこですか

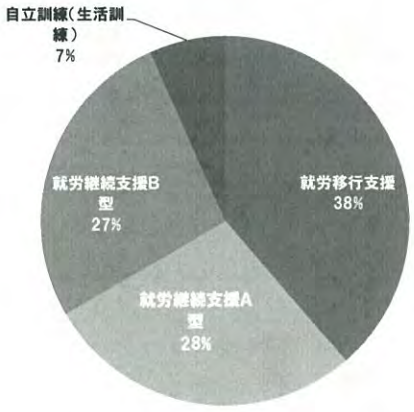


参加者が感じたこと

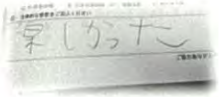
この説明会には何回来られましたか



興味を持った福祉サービスは何でしたか



参加者の声



ご本人	・制度や内容は知らなかったが、詳しく説明していただけたので利用したい気持ちが強くなった。 ・就労に向けて、先の見通しがたちました。 ・自分の持っている病気やハンデも、きちんと理解していただける職場があることがわかりました。 ブースごとの説明は楽しく勉強になりました。働くことの不安は少なくなりました。 ・いろいろ相談できて良かったです。 ・基本的なワーク（作業）を知ることが出来て良かった。
ご家族	・ほっこりしていたので安心しました。息子はまだ高２ですが、イメージをつけて夏休みに一緒に来れたらと思います。 ・見ているのと体験するのでは、作業の難易度が違うことが分かりました。参考になりました。 ・多くの事業所の資料がありがたかったです。本人の特性についても、実際に体験させて頂くことで新たな発見がありました。 ・具体的な説明が聞けてよかったです。 ・現在、利用されている方の生の声を聴けるのが良かった。
事業所	・作業を通して、どのような気づきがあるのかや、人の向き不向きに対してどのように接するのかについて勉強になりました。 ・各事業所の作業体験が出来たことや、他の事業所の方のお話も聞けて勉強になりました。 ・横との繋がりができ、ネットワークが広がった。

ご清聴ありがとうございました

ハローワーク梅田
就労系福祉サービス事業体験説明会実行委員会

企画の趣旨

1　ハローワークのチーム支援の一環としての地域への広報。
2　地域コミュニティーで顕在化しがちな「利用者獲得のための会運営」の明確な否定。
3　障がい系福祉サービス事業所として、日中活動の楽しさや有効性を伝える。

チーム・ウエストの特色

1　事業所間のチームワークが良い。
2　福祉サービスの説明をすることに重点を置き、事業所名は極力出さない。
3　来場者の方々だけではなく、事業所も他の事業所の作業実演を楽しむ。
4　ゆるーく、明るく、楽しい雰囲気。

参加者の方々の声

初めて参加させて頂き、色々な事業所の作業内容、考え方を教えて頂き、勉強になりました。次回もぜひ参加したいです。

一度に多くの事業所を体験でき、楽しい雰囲気の中で良かったです。

よかった。理解できないことが理解できた。

施設にはいろいろあるんだなと思いました。関係者の皆さんが接して下さり、わかりやすく説明して頂きました。また、参加したいです。

コミュニケーションが楽しくできた。自分だけの考えにこだわらず、自分に向いている道を見つけたいなぁ～と思いました。

来て視野が広がりました。いろんな事業所を知れて良かったです。

就労系福祉サービスオープンキャンパス

同時開催　ディーセントワークフェア2017

ハローワーク大阪西・大阪市西区・港区・大正区・浪速区役所

湊区民センター　障がい者就職面接会

ハローワーク大阪西での開催時の様子

これからのチーム・ウエストについて

障がいをお持ちの方、ご家族の方、企業の方、関係機関の方にもっと知ってもらいたい…

①福祉サービス就労実演体験会から… **ワナビへ**

②目的… **働くことに障がいがある方々への就労系福祉サービスという選択肢があることの周知。**

③目標… **その方にとって本当にふさわしい福祉サービスの提供に繋げることができるチーム。**

④行動…　広告媒体のみならずSNSなどを用いた**周知活動**の展開（HPも検討）

来場された方に安心していただけるよう専属のナビゲーターをつけ、しっかり希望やお気持ちを聞き取る。

就労移行や継続など分かりにくい言葉を、**分かりやすい説明**の徹底。

然るべきサービスに繋がるまで関係機関と連携して丁寧に対応。

⑤展望…　必要な方に福祉の**存在**を伝えることができる**発信**、**出会いの場**となり福祉の**活性化**へと繋げる。

ご清聴ありがとうございました

ハローワーク阿倍野

実演体験会報告資料

【場所】
〒545-0004
大阪市阿倍野区文の里1-4-2
【最寄り駅】
JR阪和線　美章園駅　徒歩3分
地下鉄谷町線　文の里駅　徒歩7分
地下鉄御堂筋線　昭和町駅　徒歩10分
近鉄南大阪線　河堀口駅　徒歩7分
【専門援助部門統括職業指導者】
東上　昌史　様

平成30年3月12日
LITALICO相談支援センター
清水　弘和

活動内容

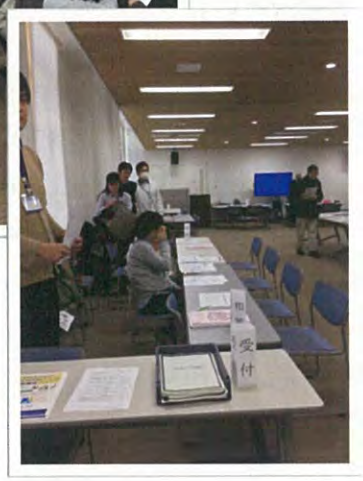
- ✓ 開催日：第2金曜日　15時～17時
- ✓ 協力団体：中部・南西部地域ネットワーク「いいくる」
- ✓ 阿倍野区・平野区　地域自立支援協議会

【各体験ブース：作業系・PC系】

活動内容

【SST体験】

【全体の様子】



【相談ブース】

【チラシコーナー】

活動内容

- ✓ 出店ブース数：体験ブース×**10** ＋ SST ＋ 相談ブース
- ✓ 参加事業所数：**37**事業所（内多機能型：12事業所）
  - L 就労移行・就労継続A型・B型・自立訓練・生活介護
    相談支援事業
- ✓ 平成29年度　総来場者数：**185**名（内、家族19名、関係者45名）
- ✓ 定例会：2ヶ月に1回程度の開催予定
  ※次回開催日：3月28日（水）17時　@LITALICOワークス大阪なんば

どのような方が来られていますか？

・●月に退職して、今は転職を考えてます。

・パソコンのスキルを身につけたい。

・息子の進路の為に、就労サービスの内容が知りたいです。

・仕事をやめて4年が経ち、主治医からOKがでたのでB型作業所から始めたい。

・生活保護から脱却したいので、A型から利用したい。

【定例会の様子】

特別企画　保護者向け体験会

1 【大阪教育大学付属支援学校　保護者会（PTA）】

進路支援部長：岩崎先生

参加者：**26**名（保護者）

出店ブース：**16**ブース

2 【大阪府立思斉支援学校　保護者会（PTA）】

高等部進路指導主事：槇本先生

参加者：**20**名（保護者）

出店ブース：**18**ブース

【アンケート】

- **なかなか自分では事業所に連絡をして見学・・・ということができず、今回とても参考になりました。**
- **まだ小学部低学年ですが、少しずつ事業所の作業などについて勉強したいと思いました。**

今後の活動について

- 活動目的の周知と理解
- 協力頂ける事業所に向けた、参加メリットの創出
- 「つながる」事例UP！
- 「実演体験会」認知度UP！

実演体験会の継続

ご清聴ありがとうございました

＜第1部＞

③　企業・支援機関が行う、職場体験会活動報告

・（株）クボタスタッフ

・大阪市障がい者就業・生活支援センター

For Earth, For Life
Kubota

職場体験の開催について

企業の立場からの障がい者雇用

株式会社クボタスタッフ

2018年3月12日（月）

For Earth, For Life
Kubota

企業が障がい者雇用を推進する目的

法定雇用率の遵守 ≒ 共生社会への貢献

職場体験の目的

企業	障がい者	支援機関
①障がい者と職場のマッチング ②採用後の定着 ③支援機関との関係作り	① 自分で自立する ② 自分でできるかどうかを試す	①利用者の自己決定を促すプログラム（＝体験試行を行う義務） ②障がい者の就労適性の把握

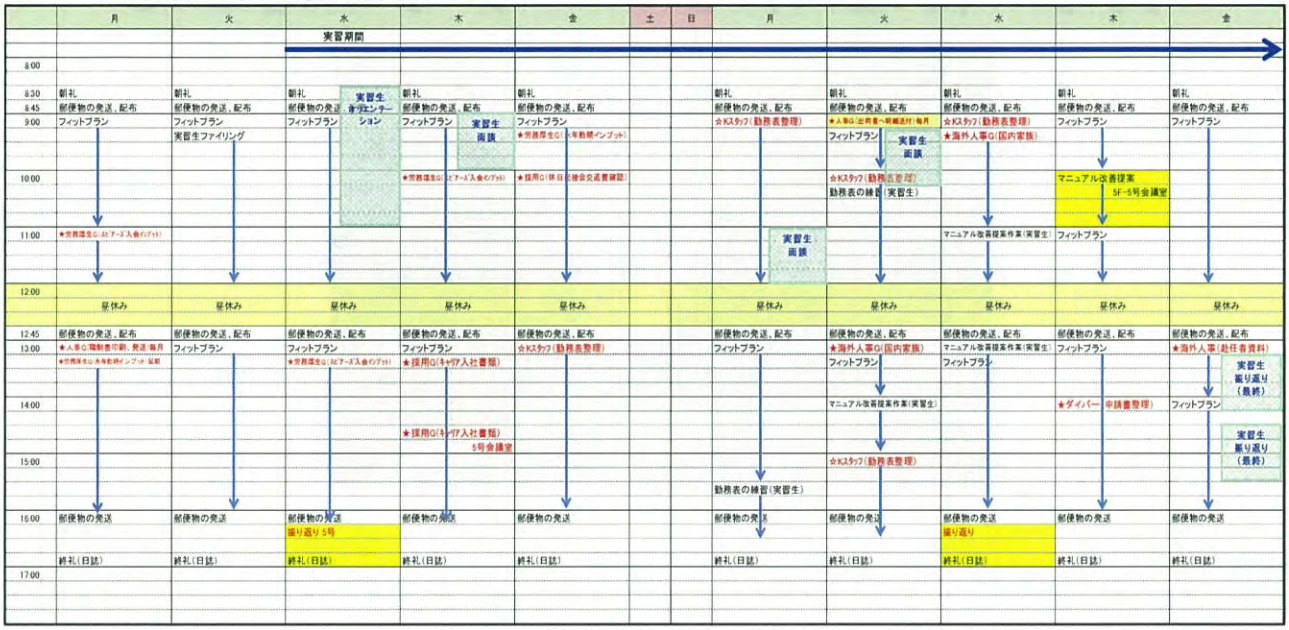
For Earth, For Life
Kubota

企業の特性

◇そもそも営利団体であり、業務は利潤追求へつながっている
（生産性と損益が判断基準）
以前は、偏見により障がい者の入る余地がなかった
⇒実際は、障がい者でも出来る仕事がある
⇒ただし、サポートはするが、仕事の成果は生産性と損益により判断される
⇒すなわち、障がい者と支援者が心得て頂くことは
⇒ルールや指示を守る　職場の風紀を守る
⇒自分から仕事を覚える
（就職はゴールではなくスタート）
⇒障がい特性を理解はするが、フォローは必要最低限

職場体験の内容

- 昨年の職場体験の例



Thank you.　ご清聴ありがとうございました。

Chance Challenge Catch +one

企業と福祉サービスが連動して行う「有意味なプログラム」とは

就労支援を行う側からアプローチするはたらきたい方への「将来的な企業雇用」

大阪市障がい者就業・生活支援センター　H30.3.23

（当事者が．．．）①できるだけ自分で決めていく　②迷ったりわからないことを相談する　③今やることに集中する

○ 段階1 ： 「職場体験説明会」（ 広報・受付・進行＝支援C プレゼン＝企業）

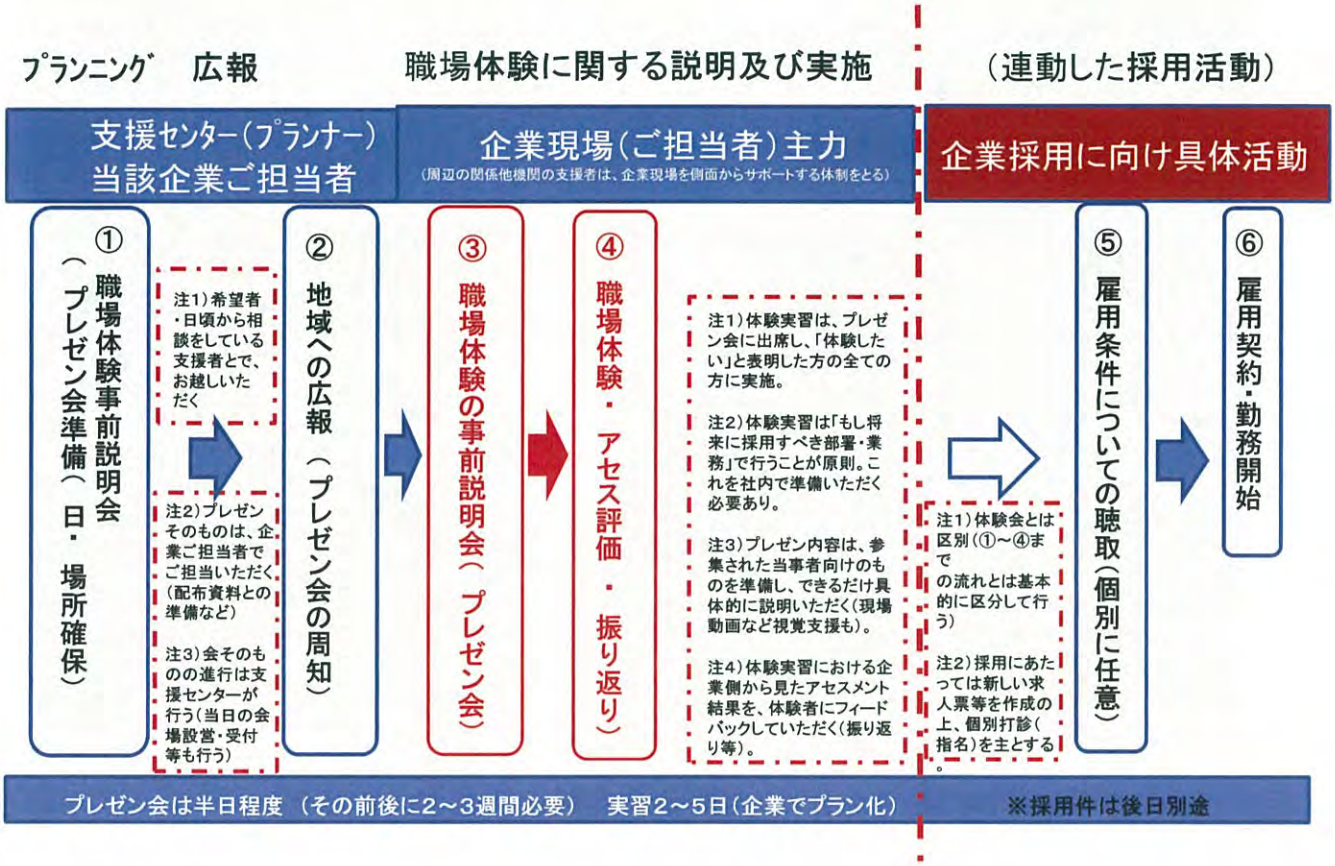
① 開催期日と場所の設定。
② チラシ作成（広報） ⇒ 当日プレゼン会に参集
⇒ 詳細の理解と体験の実施 ⇒ 振り返り
③ 「体験実習」への参加は、具体的な説明（プレゼン）を聞いてから、できるだけ自己決定。
④ 契約条件の内容より、まずは実習完遂できるか（希望者へのセルフアドボケイト促進）
⑤ 企業が人材獲得と地域貢献を思念ベースに、まずは体験機会を具体に彼らに提供。

メリット ： もしも雇用に至った場合、定着率に明らかな差が出る。支援者が出揃う
デメリット： 発案から実施、取りまとめを経て、将来的に雇用するまでに約2か月。

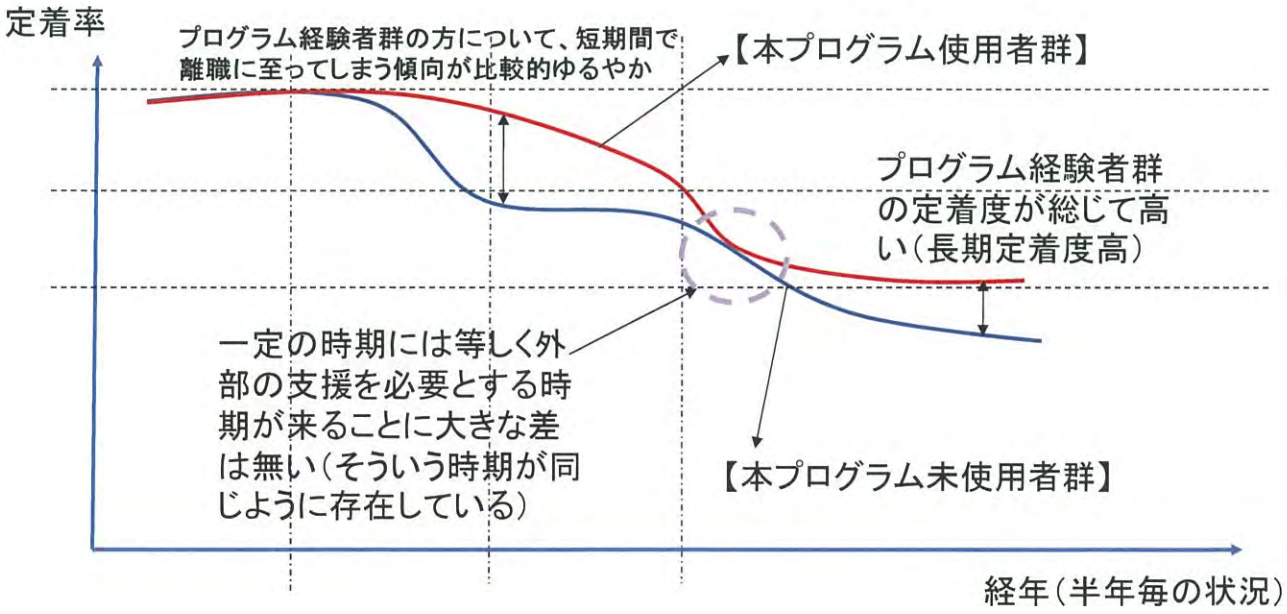
○ 段階2 ： 職場体験会の実施（実際指導・職務評価のﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ等＝企業現場）

① 当事者＝ 企業現場を体験し評価を受ける ⇒ できるだけ自分で決めたことを完遂する
② 企業 ＝ 体験希望者を指導し、評価内容を具体的に参加者にフィードバックする
③ 福祉事業所＝ 実習最終日等に“振り返り”。サービス利用期間中に提供できる試行機会

メリット： 多くの参加者から“やる気あり、契約可能性ありの方”を事前確認できる
デメリット： すべての方への体験機会を設けることが必要（福祉側にとってのﾒﾘｯﾄ）



（参考）これがきっかけとなり、結果、就職できた方の後追い調査



注）参考　平成24年～平成27年までの実施12社への後追い定着度調査結果